

令和 4 年度
此花区運営方針の実績・評価
及び
令和 5 年度
此花区運営方針の取り組み状況



此花区役所



「令和 4 年度此花区運営方針及び令和 5 年度此花区運営方針」

経営課題 1 防災・減災

経営課題 2 子ども

経営課題 3 福祉

経営課題 4 まちづくり・環境



Point

上記の 4 項目を重点的に取り組む主な経営課題と位置づけています。

経営課題 1 防災・減災

現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
避難所定員等現状 ≪津波災害時≫ 要避難者数：約36,000人 避難所定員：約8,200人 ≪上町断層帯地震時≫ 要避難者数：約8,500人 避難所定員：約15,700人 津波・大津波時に津波避難ビル等へ避難することを知らない区民の方が多い 自宅の安全基準や自宅周辺の海抜を知らない区民の方が多い	多くの区民に此花区災害時区民避難指針に沿った避難計画を作成いただき、区外への分散避難も含め、適切な避難行動をとるよう備えの促進が必要	世帯別避難計画である「わが家の避難プラン」の作成の支援促進 4 小学校と 1 中学校へ出向き、児童生徒に防災に関する授業を行い、「わが家の避難プラン」の作成を促進（防災授業を実施できなかった 4 小学校と 2 中学校へ配布） 重点地域（2 地域）を選定し、郵送による世帯配付を実施 各種イベント、広報紙、ホームページで啓発・相談会を実施 地域行事 5 回 防災出前講座11回 広報紙 9 月号	<u>「わが家の避難プラン」</u> 作成世帯数 1,766世帯 （目標：4,000世帯） R3年度からの累計作成世帯 5,949世帯	達成状況 【B順調でない】 ⇒令和5年度は、作成世帯数の向上にむけた取り組みが必要	「わが家の避難プラン」作成の促進・支援 全小中学校での防災授業実施後の宿題 重点地域の世帯に配布 町会未加入集合住宅等への防災講座実施 各種イベント等で啓発相談会を実施 広報紙 9 月号で啓発 ホームページで啓発 <u>「わが家の避難プラン」の作成（目標：4,100世帯）</u> <u>R3年度～R5年度の</u> <u>累計目標：10,000世帯以上</u>

此花区 津波避難マップ



津波避難マップの見方

- 1** 津波避難ビル
(避難可能人数色分け)
- …100人未満
 - …100～500人
 - …500～1000人未満
 - …1000人以上

浸水の
深さ
(目安)

3m～
5m未満
2階床上～
軒下浸水

0.5m～
3m未満
1階床上～
軒下浸水

0.5m
未満
1階床下
浸水

0.0 海拔表示

区界

町界

屋外スピーカー

※ 施設名称・住所は省略しています。

大阪市防災アプリ

もしもの為に、今始めよう /

大阪市防災アプリ
osaka bousai

一目でわかる防災情報

迫る危険をあなたへお知らせ

Osaka City
Disaster Prevention app

～より使いやすくリニューアル～

使ってみよう！ 大阪市防災アプリ

**一目でわかる
防災シグナル**

避難所情報・避難所開設・気象情報・台風情報・国民保護情報・地震情報・津波情報が発令されると、色の変化とトップ画面でお知らせします。危険度によって色が変わるので一目でわかります。

**迫る危険をお知らせ
プッシュ通知**

大阪市からのお知らせや防災情報をアプリからプッシュ通知でお知らせします。受け取る通知は設定することができます。

いざ備えよう備蓄品

家族構成に合わせた1週間の備蓄品が確認できます。備蓄品リストを共有したり、買い物のチェックリストを作成することができます。また、備蓄品の詳細を確認することができます。

**日ごろから使える
雨雲レーダー**

高解像度ナウキャストの雨量情報および、台風情報をリアルタイムで表示します。60分前から15時間先までの未来の降水強度分布予測を、連続的に表示して閲覧することが出来ます。

**オフラインでも使える
防災マップ**

大雨による浸水想定区域等のハザードマップ、開設している避難所一覧、避難所までのルートなどを確認できます。また、新たに国民保護避難施設が追加されました。

**みんなが使いやすい
多言語対応**

大阪市防災アプリは、多くの人にご利用頂けるよう「日本語」「やさしい日本語」「英語」「中国語（繁体語・簡体語）」「韓国語」に対応しております。日本語が苦手な方も安心です。

お問い合わせ先
大阪市危機管理室
TEL : 06-6208-7388
FAX : 06-6202-3776

大阪防災アプリ

App Store
Google Play

※ダウンロードには通信料がかかります。

経営課題 2 子ども

現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
児童・生徒の学力が大阪市平均以下	学習時間の向上と学習機会の提供	区内 8 小学校での 単元テスト の実施と学期毎に結果のフィードバックを実施 単元テスト 24 回 保護者へ情報提供 3 回／年	<u>子どもに学習の習慣がついていると思うと回答した割合：61.6%</u> ※此花区区民アンケート(目標：78%以上)	進捗状況【B順調でない】 ⇒ 現状の取り組みのみでは不十分なため単元テストに加え R 5 年度から「 CoCoチャレ塾! 」を新たに実施	単元テスト分析ツール内の苦手克服プリントの実施や学力判定機能を活用した保護者への開示等を実施 <u>子どもに学習の習慣がついていると思うと回答した割合(目標：80%以上)</u> ※此花区区民アンケート 4 月から区内全 8 小学校区にて民間事業者を活用した小学 5・6 年生対象課外学習事業「 CoCoチャレ塾! 」を実施
課題解決に向けて取り組む割合が大阪市平均以下	課題解決能力の向上	区内全 8 小学校にて ロボット「ペッパー」を活用した課題解決学習 の実施 (内、梅香小と春日出小にて交流型授業&リモート発表会を実施)	<u>課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと回答した児童・生徒の割合：75.3%</u> ※全国学力・学習状況調査(目標：76%以上)	進捗状況【A順調】 ⇒引き続き、取り組みを進める。	区内全 8 小学校にて引き続き ロボット「ペッパー」を活用した課題解決学習 の実施 2 学期より 民間企業や各教育機関と連携した交流型授業 を実施予定 <u>課題解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと回答した児童・生徒の割合(目標：78%以上)</u> ※全国学力・学習状況調査
将来の夢や目標を持つ割合が大阪市平均以下	児童・生徒が将来の夢や目標をもてるような体験の機会の提供	区独自取り組みとして職場体験・職業講和協力企業リストを作成し区内全 3 中学校での 職場体験・職業講話授業サポート の実施	<u>将来の夢や目標を持っていると回答した児童・生徒の割合：81.6%</u> 大阪市「全国学力・学習状況調査」(目標：全国平均以上)	進捗状況【A順調】 ⇒引き続き、取り組みを進める。	春日出中、梅香中は職場体験を 1 学期中に実施し、職業講話を 3 学期に実施予定。此花中は課題解決型授業を 2 学期以降実施予定 大阪市「全国学力・学習状況調査」で、「 <u>将来の夢や目標を持っている</u> 」と回答した児童・生徒の割合(目標：全国平均以上)

令和5年度 此花区での教育支援の取り組み

単元テストの実施



職業体験・職業講話等の実施



民間事業者を活用した小学5・6年生対象課外学習「CoCoチャレ塾！」の実施



ロボットを活用した課題解決学習の実施



経営課題 3 福祉【高齢者等の見守り】



現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
【現状】 単身高齢世帯の数 H27年国勢調査：4,467世帯 ↓ R2年国勢調査：5,202世帯 高齢化率 R4.4.1 28.2% (全市は25.5%) R5.4.1 28.0% (全市は25.3%) このはな地域見守りタイのボランティアの数 R3年度末：254人	【課題】 このはな地域見守りタイのボランティアの数を増やし、その活動をより充実させる	このはな地域見守りタイの活動を積極的にPRし、見守りボランティアを発掘・育成 紙媒体 ビラ、区社協だより、老人福祉センターだより イベントによる周知 区社会福祉大会(12/8) ふれあいフェスタ(3/18) 見守りにかかる基礎的な内容や、社会的なつながりが希薄な世帯への支援を強化できる内容で研修を実施 (実施日：R4.9.2) 障がいや障がい者への理解を深める研修を実施 (実施日：R5.2.10) 別途、個人情報の取扱等にかかる研修を実施 このはな地域見守りタイのボランティアや高齢者を対象に区社会福祉協議会においてLINE講座を実施 (実施日：R4.8.8、R4.8.16、R4.8.31、R4.9.7)	高齢者や障がい者等について、地域から十分に見守りが行われていると感じると回答した割合：28.1%※此花区区民アンケート（目標：45%以上） このはな地域見守りタイボランティア数 R4年度末 251人	達成状況 【B順調でない】 ⇒ICTの活用など、さらなる取り組みを通じて、少なくともプロセス指標の達成が必要	従前の取り組みに加えて、SNSを活用した情報配信などを実施していくことで高齢者だけではなく若い世代への働きかけを図る 高齢者や障がい者等について、地域から十分に見守りが行われていると感じると回答した割合（目標：50%以上） ※此花区区民アンケート 見守りや社会的なつながりが希薄な世帯への支援を強化できるテーマや障がいや障がい者への理解の研修 孤独死等の未然防止やヤングケアラー支援等につながる研修等 LINE講座の実施等を通じて習得した知識を事業の活用につなげていくための取り組みにつながるよう受託者と連携

このはな地域見守りタイ

「このはな地域見守りタイ事業」 **ビラ**

**此花区の
安全・安心は
私たちが
守ります！**

「このはな地域見守りタイ」ボランティアリーダーとボランティアは、子どもから高齢者まで見守りが必要とする方への定期的な見守り活動を行うとともに必要に応じて行政機関や関係団体などへの連絡を行うなど、地域の「アンテナ役・つなぎ役」を担っています。

このはな地域見守りタイ 活動中！

アンテナ役
つなぎ役

●近所で気になる人の家への訪問や通での声かけなどの見守り活動を行い、報告書記入

●リーダーとの情報共有や研修の実施
●報告書の内容を確認し、必要に応じて関係機関につなぎます

報告書の提出
気になる人の報告
見守りタイボランティア

報告書の提出
地域で気になることの報告など
見守りタイリーダー

活動のサポート
(時には一緒に訪問)

活動のサポート
(時には一緒に訪問)

区社協

社会福祉法人 大阪市此花区社会福祉協議会

人と会ったり、話したりすることが減っていませんか？

「コロナ禍でも！/ 前年度のボランティア活動回数 **9,533回**」

見守りタイは、見守りの形を工夫して活動を継続しています！

例えば...

短時間の訪問
元気にして話そう！

電話でお話を聞く
お話を聞かせて！

買い物場りに
手すりがあるよ！

インターネット越しに
こんにちは！見守りタイです！

道で見かけたり、買い物の時など、ちょっとした出会いや会話も見守りの形のひとつです！

あなたも地域の安全・安心を守る「見守りタイ」になりませんか？

見守りボランティア
見守りを希望される方
お気軽に区社協までご連絡ください！

気がなる方がいれば
行政機関や関係団体などへ連絡します！

特設の「アンテナ役・つなぎ役」

社会福祉法人 大阪市此花区社会福祉協議会
〒554-0002 大阪市此花区浜法3-2-27 此花ふれあいセンター内
TEL.06-6462-1224 FAX.06-6462-1984
月～金曜日 午前9時～午後7時 土曜日 午前9時～午後5時30分

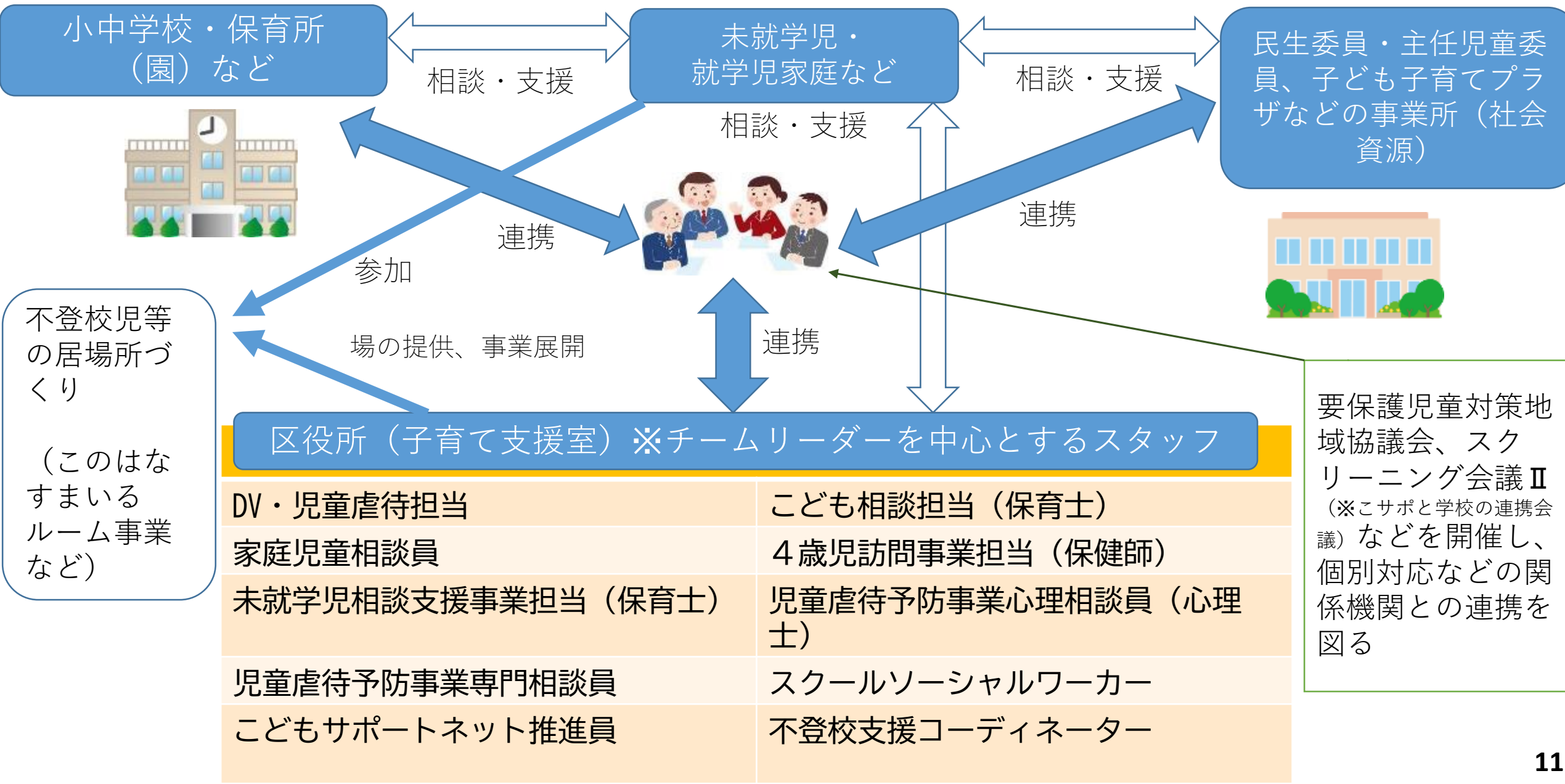
※本事業は、此花区の社会福祉協議会が委託を受けて運営しています。

経営課題 3 福祉【児童虐待予防】



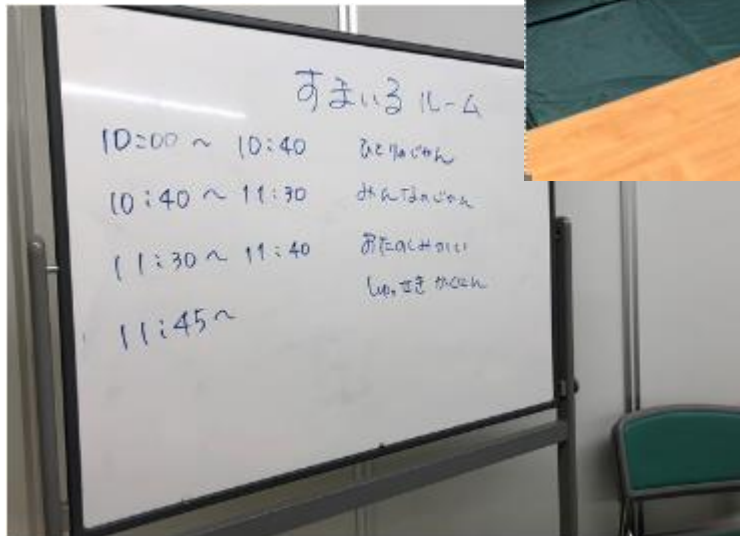
現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
児童虐待通報 件数 R 3 年度 131件 R 4 年度 75件 子育て支援室の 相談件数 R 3 年度 471件 R 4 年度 314件 こどもサポートネット事業で学校から相談のあった件数 (スクリーニング 会議Ⅱの件数) R 3 年度 32件のうち、不登校児童 (不登校傾向を含む) 10名 R 4 年度 78件のうち、不登校児童 (不登校傾向を含む) 44名	支援を要する親子が多い中、支援の担い手やつなぎ先を充実させ、支援が必要な子どもと保護者を孤立させないことが必要	未就学児相談支援事業による園への訪問（定例化） 相談対応児童数 100人（訪問・電話等） 4 歳児訪問事業による区独自の絵本選定 選定絵本「たべるのだいすき」、「きみのげんきをマモルンジャー」 配布計471冊（人） 児童虐待予防事業の相談員の定期巡回 相談件数（延べ） 心理相談員 281件 専門相談員 222件 こどもサポートネット事業の活用に向けて学期初めの早い段階から学校訪問 スクリーニング会議Ⅱ（37回開催）の実施 全小学校・中学校に訪問 不登校支援の推進を図るために区役所で「このはなすまいるルーム」を46回実施 支援児童数 263人（延べ） ボランティア 102人（延べ）	<u>重大な虐待件数 0 件</u> こどもサポートネット推進員の実績（延べ） 電話 757件 手紙等 12件 家庭訪問 112件 その他 (区役所で面談等) 142件	達成状況【A順調】 ⇒複合的課題のケースについて学校も含めた役割分担や連携の強化がより必要 ⇒こども青少年局派遣のSC（スクールカウンセラー）との連携強化等による相談機会の増が必要 ⇒具体的活用例を学校に提示することで教員が理解を深め、こどもサポートネット事業の活用実績に結び付けることが必要	4歳児訪問・見守り支援事業として事業を統合し、4歳児を中心として対象家庭に絵本を配布すること通じて関係構築や支援を強化 学校と子育て支援室との連携をより密にすることで、学校の状況に見合った支援の導入をすすめる ・心理的課題 →児童虐待予防事業 ・福祉的課題 →こどもサポートネット事業 ・不登校課題 →このはなすまいるルーム事業 <u>（目標：重大な虐待件数 0 件）</u>

子育て支援室の体制と関係連携図（イメージ）



このはなすまいるルームの様子

学校などに行きづらくなっている小・中学生（主に小学生）に対して居場所を提供。原則、毎週木曜日に此花区役所で実施



経営課題 4 まちづくり・環境【まちづくり】



現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
地域活動協議会（地活協）の認知度が低い	地活協の取り組みを通じた認知度の向上	区役所の広報紙及び広報板による情報発信（毎月掲載） 地活協実施のイベント等において、地活協の取り組みが多岐にわたることをPR	地活協を知っていると回答した割合： 47.3% ※ 区民アンケート調査（市民局実施）（目標：50%以上）	達成状況【B順調でない】 ⇒広報紙や庁内掲示板などで情報発信を行うことに加え、様々な機会を捉えてPRする必要がある	地域でのイベント開催時などに行うコミュニティアンケート調査の際に、地活協の取り組みが多岐にわたることが記載されたチラシを同時配付しPR件数を増やす <u>地活協を知っていると回答した割合（目標：56%以上）</u> ※ 区民アンケート調査（市民局実施）
地域活動に従事している区民の割合が低い	新たな担い手の確保	担い手育成講座（このまちトリアル） を8回開催 オンラインを活用した地域活動紹介や新たな地域資源、人材発掘（5回）	<u>地域活動にスタッフとして参加したことがあると回答した割合：28.9%</u> ※此花区区民アンケート（目標：25%以上）	達成状況【A順調】 ⇒引き続き、取り組みを進める。	意欲のある人材の GRANT（地域活動マッチングサービス） への登録を促し、担い手となりうる人材を増やす <u>地域活動にスタッフとして参加したことがあると回答した割合（目標：30%以上）</u> ※此花区区民アンケート
地活協の意義・機能についての取り組みが不十分	地活協事業の透明性の確保するため、その意義や求められる機能の理解促進に向けた積極的な働きかけが必要	地活協の意義や求められる 機能の理解が深まるための研修会 を実施 2回（全地域対象） 2回（全地域対象） 5回（地域単位） 活動内容の透明性を確保するための 会計説明会 を実施	<u>準行政的機能を認識していると回答した割合：65.4%</u> （目標66%以上） <u>総意形成機能を認識していると回答した割合：61.6%</u> ※地活協の構成団体へのアンケート（目標：70%以上）	達成状況【B順調でない】 ⇒地活協メンバーが交代した地域への個別説明を増やす必要がある	地活協会計説明会、運営委員会や地活協メンバーが交代した地域への意義や機能の説明を増やす <u>準行政的機能を認識していると回答した割合（目標：71%以上）</u> <u>総意形成機能を認識していると回答した割合（目標：74%以上）</u> ※此花区区民アンケート
地域の実情に応じた取り組みが進んでいない地域がある	それぞれの地域特性に即した地域課題を把握し、それに応じた最適な支援が必要	地域課題を抽出したうえで地活協が自律的に解決できるよう支援方針を検討し、地域へ出向き実践（全地域で実施）	<u>地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態にあると思う割合：83.6%</u> ※地活協の構成団体へのアンケート（目標：91%以上）	達成状況【B順調でない】 ⇒個々の地活協へ参入したい企業、NPOなどへのアプローチが必要である	地活協と地活協外部の人がつながる場（地域、企業、NPO等が参加する交流会）を試行実施 <u>地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取り組みが自律的に進められている状態にあると思う割合（目標：94%以上）</u> ※此花区区民アンケート

【まちづくり】事業のようす



コミュニティ
アンケート調査



会計説明会

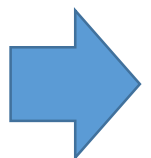


GRANT（地域活動マッチングサービス）

現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
夢洲(万博・IR)やUSJの賑わいによる来訪者が此花区内部を素通りする恐れ	2025年の大阪・関西万博の開催を契機とした此花区内部の魅力形成が必要	2025年の大阪・関西万博を契機とした此花区のまちの盛り上げに向けた有識者による委員会等立上げ ≪8月≫ 有識者会議の立上げ 有識者会議の開催 ≪9月～11月≫ キックオフ作品の検討に向けた調査（アート関係者にヒアリングなど） ≪1月～3月≫ 業務委託の実施（アート公園化構想の策定の補助など） ≪3月≫ 座談会の開催（2回） 有識者会議を開催 此花区のまちのにぎわいづくりに向けたパブリックアート作品の設置にかかる調査業務委託を実施 業務委託期間 R5.1.4～R5.3..31	<u>「パブリックアート作品がまちの盛り上げや活性化につながりそうだと感じる・どちらかと言えば感じる」と回答した割合：54.7%</u> ※此花区区民アンケート（目標：50%以上）	達成状況【順調】 ⇒目標値は達成していたものの、区民と関わる中で機運醸成が不十分であると感じ、パブリックアート作品の設置予定からアート公園化構想の検討にシフトチェンジ ⇒検討の結果、令和6年度からアート公園化の本格実施、令和5年度は機運醸成に資する2作品の制作へ	本事業と万博の機運醸成に資する作品の制作・設置、関連イベントの開催 ≪随時≫ 構想・体制づくりの検討 ≪6月≫ プロポーザルで選定された事業者との契約 （パブリックアート制作及び正蓮寺川公園への設置並びに発信を通じた機運醸成業務委託／25,000千円） ≪8月≫ 特名随意契約（2025年日本国際博覧会ロゴマークをモチーフとしたパブリックアート作品の制作業務委託／19,400千円） ≪3月(予定)≫ お披露目イベントの開催 （<u>目標：正蓮寺川公園に万博のコンセプトを踏まえたアートを設置する 1件</u>）

アート事業における参考成功事例について

名称	※写真は各公式サイト等から引用	概要	経済効果等
イカキング		2021年3月末に石川県能登町の「イカの駅つくモール」に設置された全長13m・高さ4mのイカの巨大オブジェ	経済効果約6億円 宣伝効果は約18億円
瀬戸内国際芸術祭		3年に1度のペースで開催されている、瀬戸内海に浮かぶ島々を舞台とした現代美術の国際美術祭	総来場者数723,316人 (2022年／会期3ヶ月間) 香川県内への経済波及効果が103億円 (2022年開催にかかる試算)
佐久島アート		愛知県西尾市に所在し、三河湾に浮かぶ人口約200人の佐久島にて実施している、約20年間継続中のパブリックアート設置事業	SNS上でも人気となっており、佐久島への訪問者数について、年間5万人から10万人へ倍増
シュメイナスの壁画アート		カナダのビクトリアから約80キロほど北にある小さな町「シュメイナス」にて、1980年代から街中に壁画を描いていった取り組み	衰退した町の活性化を目的として始まり、一時は年間40万人もの観光客が訪れた



此花区の正蓮寺川公園にパブリックアートを設置し、アートの魅力によって区外からも多くのお客様が訪れる「まちの賑わいの場」としていく。

令和4年度の取組について

① 有識者会議を立ち上げ、アート事業のテーマ・コンセプトを検討

② 令和4年度第1回正蓮寺川・六軒家川環境整備推進協議会（書面開催）

正蓮寺川公園のアート公園化にかかる資料を配布し、皆さまからご意見を聴取。
頂いたご意見に対する回答文を送付するとともに、此花区役所ホームページにも掲載。

③ アート事業にかかる構想等の策定のための調査業務委託を実施（1月～3月）

(1) 一部の区民へのヒアリング

- ・ 正六協のアート部会メンバーや公募メンバー等での座談会
- ・ 此花区内でイベント等を主催されている方々等へのヒアリング など

(2) アート関係者へのヒアリング

- ・ 此花区内でアートギャラリーを運営されている方へのヒアリング
- ・ 他都市でアート事業の運営等に携わった経験がある方へのヒアリング など

(3) 文献や類似アート事業の調査

令和5年度以降の取組について

アート事業にかかる令和5年度以降の進め方を整理

助走期（令和5年度）

- 準備会議で検討
- 体制づくり
- 正蓮寺川公園を軸とした
「此花アート構想(仮称)」づくり

機運の盛り上げ!!

- **万博応援作品**の制作で強力に発信!!
 - ① 万博ロゴアート制作!
 - ② あとひとつ、強力な発信力のあるものを!!
- イベント、パラペットに文字など

盛上げ

本格実施（令和6年度～約20年間?）

本番作品100+づくり!!

- a 区民との共創アート
- b 企業等による作品

まち全体をアートで盛り上げ!

（まちなか作品 & アートイベント）

令和5年度の体制について

R5年度.....準備会議

☆体制づくり ☆構想づくり ☆機運盛り上げ等

有識者会議の
メンバー

正六協からの
メンバー

コアメンバーミーティング
(各メンバーからの選出者にて構成)

地元アート&
イベントメンバー

区役所からの
メンバー



R6年度以降

検討中

アート事業の事業名等について

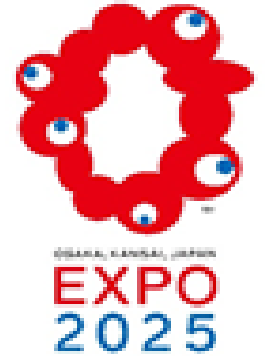
事業名

konohana permanentele 100+

このはな ペルマネンターレ ひゃくプラス

テーマ

いのちの輝き脈々と、未来へ



コンセプト

- ① 百年の歴史とところを、アートを通じて未来へ継承し、発展させる
- ② 人々が、100以上のアートを未来に向けて脈々と作り続け、更新し続けていくことそれ自体によって、脈々と未来につながり続ける命の輝き（well being）を表現する。
- ③ 子どもが笑顔を輝かせ喜ぶアートを通じて、多くの人々の笑顔を創り出し、その笑顔も“コロニー型アート” (※)の一部とする。
- ④ 長年にわたり増殖し、形を変えていく「konohana permanentele 100+」自体を“コロニー型アート”としてとらえる。

※ コロニー型アート サンゴが個々のポリプが集まってコロニー（群体）をつくるように、個々のアートの集合体をひとつのアートとして捉えるための造語である。「konohana permanentele 100+」の全体が、いわばひとつのアートとして人々のところに響くようにとの願いを込めている。

アート事業の取組状況について

アート事業及び万博の機運を盛り上げるためアート 2 作品を設置

令和5年度に設置する2作品について

- ・ 万博ロゴマークをモチーフとしたアート作品を業務委託予定（調整中）
- ・ 万博ロゴマークの著作権を一括管理する日本国際博覧会協会とも調整中
- ・ 令和5年度内に制作及び設置し、除幕式等のお披露目イベントを実施予定

- ・ パブリックアートの制作及び設置並びに発信を通じた機運醸成業務委託
⇒ 公募型プロポーザルを実施（令和5年4月～5月）
- ・ アーティスト等もプロポーザルにて提案させ、今後アーティストを具体的に選定
- ・ 令和5年度内に制作及び設置するとともに全国へ強力に発信し、本格実施に向けた機運を盛り上げ

現状	課題	R 4 年度 取り組み	R 4 年度 実績	R 4 年度 評価	R 5 年度 取り組み
【現状】 地球の環境は悪化の一途をたどっているが、持続可能な社会の実現に取り組む機会が少ない	【課題】 持続可能な社会の実現に向けて関心を持っていただく取り組みを行う必要がある	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト を新たに3地域（西九条地域、島屋地域、桜島地域）で実施 児童が関心を持って学べるための ロボットを用いた環境学習コンテンツ を授業で活用してらうため小学校8校中学校3校に提供 2025大阪・関西万博に向け、児童・生徒を対象にしたSDG s 関連の学習を実施	R4現在 全6地域で実施 （目標：5地域以上） <u>地球環境に関心を持っている子どもの割合：98.9%</u> （目標：55%以上） ※学校へのアンケート	達成状況【A順調】 ⇒引き続き、取り組みを進める。	みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト をさらに拡大するために未実施の地域へ働きかけを実施 <u>みんなでつなげるペットボトルプロジェクト取り組む地域（目標：全10地域）</u> 児童が持続可能な社会の実現に関心を持てるような ロボットを用いた環境学習コンテンツ を学校に提供し、授業において活用してもらう <u>地球環境に関心を持っている子どもの割合（目標：95%以上）</u> ※学校へのアンケート

みんなでつなげるペットボトル循環プロジェクト



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS**

世界を変えるための17の目標